



16年のポーランド生活の総決算 ショパンのバラード全曲と 自作曲のCDをリリース

文◎編集部 原口啓太

『オマージュ・ア・ショパン』
ソニー／ミュージックエンターテインメント
MECO-1018
¥2,857+税
2月19日発売

【CD 発売記念リサイタル】

3月14日(金) 19:00
東京オペラシティリサイタルホール
〒東京都オペラシティチケットセンター 03-5353-9999
3月22日(土) 19:00
清里萌木の村 ホール・オブ・ホールズ
〒岡本木の村 ホール・オブ・ホールズ 0551-48-3535
3月9日(日) 15:00
タワーレコード渋谷店7階 イベントスペース



平澤さんは東京音楽大学を卒業。

1993年霧島国際音楽祭でグランプリを受賞。審査委員であった名ピアニスト、故レギナ・スメンジャンカに才能を認められてショパン音楽大学の大学院に留学。大学院卒業後もポーランドを拠点に世界各地で演奏活動をしてきた。結果16年間をポーランドで過ごし、2010年に帰国した。

「日本に帰って、自然の美しさに感動して、それを音楽で伝えたくなり、作曲を始めました。今、水に魅かれており、2月の東京都羽村市のコンサートでは、「羽村は水の町」ということで、多摩川の源流にまで溯り、川になって海へ注ぐまでを、作曲して演奏しました」

彼女がポーランドにいた10年前に掲げた夢がショパンのバラード全曲

の録音だった。帰国を機に、日本での初めてのCDでそれを実現した。

「やはりポーランドにしているとショパンを演奏する機会も多く、それを追求する環境にありました。『やつぱりショパンって難しい。どうしたら思い描いたとおりに弾けるのだろうか……』と追求しているうちに、10年経った感じです」

嬰ハ短調の遺作のノクターンを始め、作品9の2、そしてバラード1番、ノクターン作品27をはさんでバラード第2番から第4番まで。最後に、帰国して書いた自作、諏訪湖にインスパイアされた〈天への回帰〉〈龍〉も収録した。

「このCDはポーランド生活の集大成。そして自作曲も含めた今後の活動への第一歩にしたいと思っています」